

中央市庁舎整備 基本構想

効率的で温かい

これからの行政サービスの 協働拠点



平成26年3月

中 央 市

はじめに

平成 18 年 2 月 20 日の中央市誕生から、本年で 8 年が経過いたしました。

この間、市の将来像「実り豊かな生活文化都市」の実現に向けて、第 1 次中央市長期総合計画等に基づき、市の均衡ある発展と一体感の醸成にむけて、全庁を挙げて各種施策を展開してきました。

一方、市庁舎の整備については合併協定項目において、既存施設の有効活用の観点から、当分の間は、機能を分散した分庁舎として活用し、新たな庁舎建設については、市民の利便性等を考慮する中で、新市の中心部に建設するとしており、以降は新市建設計画、そして現在の第 1 次中央市長期総合計画後期基本計画に継承され、今日に至っています。

この間、平成 22 年度には、市の職員による「中央市庁舎に関する内部検討委員会」による内部的検討を行い、平成 23 年度には、学識経験者、自治会・各種団体代表、公募委員等で構成する「中央市庁舎に関する市民検討委員会」において、市民サービス・経済性・効率性・施設の現状などを踏まえ、総合的な見地から協議・検討を行い、今後の庁舎のあり方について、既存の庁舎を増改築することを前提とした「1 本庁舎 2 支所体制」とすることが提言されました。

この提言を踏まえ、平成 24 年度は、「中央市庁舎整備基本構想策定に係る基礎調査報告書」の策定等を経て、この度、「中央市庁舎整備基本構想」を策定いたしました。

本構想は、市民検討委員会からの各種ご意見を踏まえ、中央市庁舎に関する内部検討委員会において、これまでの庁舎整備に関する調査、検討結果を基に、今後の庁舎整備の指針として、各庁舎ごとのより具体的な構想案をまとめたもので、今後の庁舎整備位置等の決定に当たり、その判断材料ともなるものです。

この構想を基に実りある議論をいただき、本市の「これからの行政サービスの協働拠点」づくりを行ってまいります。

平成 26 年 3 月

中央市長 田 中 久 雄

目 次

| | | |
|------------|-------------------------------|---------------|
| 1 章 | 庁舎整備検討の経緯と必要性 | - 1 - |
| 1.1. | 庁舎整備に関する検討の経緯..... | - 1 - |
| 1.2. | 庁舎整備の必要性..... | - 2 - |
| 2 章 | 現況の整理と分析 | - 4 - |
| 2.1. | 位置図..... | - 4 - |
| 2.2. | 現地写真..... | - 4 - |
| 2.3. | 既往データの確認・分析..... | - 8 - |
| 2.4. | 地域実態マップの作成..... | - 11 - |
| 3 章 | 人口・職員数等の将来予測 | - 14 - |
| 3.1. | 人口の将来予測..... | - 14 - |
| 3.2. | 職員数の将来予測..... | - 15 - |
| 3.3. | その他の将来予測..... | - 18 - |
| 4 章 | 統合庁舎整備方針の検討 | - 20 - |
| 4.1. | 統合庁舎整備のコンセプト..... | - 20 - |
| 4.2. | 統合庁舎整備に求められる機能と整備方針案..... | - 21 - |
| 4.3. | 統合庁舎整備要件についての基本的な考え方..... | - 22 - |
| 5 章 | 敷地別の統合庁舎整備構想案の策定 | - 29 - |
| 5.1. | 敷地別の統合庁舎整備構想案の検討..... | - 29 - |
| 5.2. | 敷地別の統合庁舎整備構想案の策定..... | - 30 - |
| 6 章 | 評価基準の設定 | - 36 - |
| 6.1. | 統合庁舎整備の評価項目..... | - 36 - |
| 6.2. | 統合庁舎整備評価項目に対する整備目標..... | - 37 - |
| 7 章 | 統合庁舎各案の評価 | - 39 - |
| 7.1. | 評価基準に対する各案の対応..... | - 39 - |
| 7.2. | 統合庁舎各案のカルテ..... | - 47 - |
| 8 章 | 今後の検討課題 | - 58 - |
| 8.1. | 検討事項..... | - 58 - |
